

分社

分社グループ会報

《発行元》

分社理念研究所 事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田8丁目
11番21号五反田TRビル

TEL 03-5496-1810

FAX 03-5496-1881

平成22年度スタートにあたり



酒井代表

前年の二十一年度は日本にとっても我々にとっても大変厳しい年でありました。
特に前半はリーマンショックによる猛烈な減収減益に見舞われ、対策が後追いの状況でしたが、後半になってようやく月次損益がプラスに変化し始めました。
こうしたなか、グループ各社は粘り強くやってきてくれたと思います。

新年度は中国や東南アジアの

好況に支えられてはいますが、デフレが続くことを予想すれば楽観はできません。企業特に製造業は業績を回復しても消費が回復するのはずっと後になりそうです。

とまれ下手な予測をしているより、今年度をどのような年にしたいかを語るべきなのかも知れません。

今年度は前年の厳しい業績のためグループ各社の財務内容がかなり傷んでしまいました。その修復のため事業の再生に注力することが第一の目標です。

事業再生の基本は、

- 一、新しい商品と技術
- 二、異なるお客様と市場
- 三、販売・製造の仕組みを変える

社長会 & 経済講演会 開催される



この三点の確実な実施と継続が重要です。

再生屋と称する人たちが共通して唱えることなので陳腐的と批判されてしまうかも知れませんが、

平成22年3月19日(金)コート・ヤード・マリオット銀座東武ホテルにて今年第一回の社長会が開催されました。

篠崎会長の挨拶に引続きグループ全体の業績推移、内部監査実施報告、最近の法改正等について報告があり、最後に酒井代表より挨拶がありました。

社長会に引続き、みずほ総研チーフエコノミスト杉浦哲郎氏による経済講演が開催されました。講師より、昨年末の世界同時不況による不透明な内外情勢下、今年の世界経済と日本国内の景気動向についての見通しを解説していただきました。

★今回の講演で使用された資料が事務局にあります。
ご希望の方には電子メールでお送りいたしますのでご連絡下さい。



杉浦哲郎氏



当り前のことが最も大切なこととして世の中にはよくあることです。
当り前にしつかり働きましょう！

平成二十二年度 経営計画

グループ全社より経営計画をまとめていただきましたのでご紹介いたします。

- ①代表者名
- ②経営方針 または スローガン
- ③重点施策
- ④売上目標（単位：百万円；小数点以下切上げ）
- ⑤経常利益目標（単位：百万円 " ）
- ⑥ひとこと



インテグラン株式会社 INTEGRAN Inc.



- ① 代表取締役社長 関 山 浩 一
- ② ・明確な事業戦略の立案と実行・コア技術の明確化
・明確な制度・システム創り・組織の求心力の向上を目指す
- ③ ・パワーコンディショナーの製品化
・航空・宇宙・防衛用電源と産機用電源分野への継続的投資
・経営管理部による10年先を見据えた新制度創り
- ④ 2,200 百万円 ⑤ 20 百万円
- ⑥ 3つのコア技術の確立と人材の育成と獲得に継続的な投資を行う



大 陽 工 業 株 式 会 社 TAIYO KOGYO Co., Ltd.



- ① 代表取締役社長 酒 井 陽 太
- ② 時代の変化を見極めた事業態勢の見直しに注力し、新技術の開発、新設備の導入、人材の育成に重点的な投資を実施します。
- ③ ・新技術の開発強化
・低価格化への対応として海外調達の実現
・新事業立ち上げの加速
- ④ 6,250 百万円 ⑤ 163 百万円
- ⑥ 不況は、社内体制見直しのチャンスと認識しています。不況に打ち勝つことにより会社は鍛えられ、強くなります。今回の不況も知恵と汗を出して克服し、より強靱な会社にしたいものと願っています。



セブンヒルズ株式会社 SEVEN HILLS Co., Ltd.



- ① 代表取締役社長 鎌 内 勉
- ② 「もったいないをビジネスに！」をキーワードに地球環境の保持に適した事業の運営に邁進して参ります。
- ③ ・徹底した効率化
・新規取引先の拡販
・目標貫徹
- ④ 145 百万円
- ⑤ 10 百万円
- ⑥ 「エコアクション21」認証・登録制度を取得し、環境経営システムに取り組みます。



株式会社 大 昌 電 子 DAISHO DENSHI Co., Ltd.



- ① 代表取締役社長 篠 崎 尚 利
- ② 市場変化にスピーディーに対応しよう
- ③ ・高付加価値製品への更なる展開
・歩留り(良品率)の徹底した改善
・有利子負債の削減(資産の圧縮並びに売却)
- ④ 21,850 百万円
- ⑤ 500 百万円
- ⑥ 独創技術の開発と品質の向上により、先端技術型企業を目指します。



丸 忠 デ ジ タ ル 株 式 会 社 MARUCHU DIGITAL Co., Ltd.



- ① 代表取締役社長 増 島 清 治
- ② 総合金型メーカーのオンリーワンを目指します。
- ③ ・精密、微細金型の開発、製品化
・実装基板用金型の販売強化
・メンテを含めたフルサポート体制の強化
- ④ 328 百万円
- ⑤ 8.6 百万円
- ⑥ お客様に提案するパートナーを目指します。



富士精密株式会社 FUJI SEIMITSU Co., Ltd.



- ① 代表取締役社長 菅 実
- ② 原価の精査徹底
- ③ ・作業、業務効率の改善
・高付加価値への挑戦
・顧客志向の観点で判断・行動
- ④ 2,400 百万円
- ⑤ 120 百万円
- ⑥ 絶対量が少ない中、いかに利益確保へ繋げるか努力いたします。



株式会社 幸大ハイテック KODAI HITEC Co., Ltd.



- ① 代表取締役社長 眼目 毅
- ② 『見て、感じて、変化する』そして『社員が常に進化すれば、会社も進化する』
- ③ ・『ステップアップ50』作戦
・提案型商品の開発推進
・前後工程の受注活動
- ④ 3,200 百万円 ⑤ 20 百万円
- ⑥ 「もの造り」産業から「価値創り」産業へチェンジする。ネットワーク型製品開発で生命産業を発展の基軸とする。



大金電子工業株式会社 DAIKIN DENSHI KOGYO Co., Ltd.



- ① 代表取締役社長 本間 修
- ② “顧客満足の向上”
株主・地域・社会に貢献し、社員とその家族が安心して豊かに暮らせるような企業を目指す。
- ③ ・人材育成・品質保証・原価低減
・成長分野の受注拡大 ・サービス拡大
- ④ 2,000 百万円 ⑤ 10 百万円
- ⑥ 今期の合い言葉は「一体感」、人材育成を第一に経営基盤の強化を図る。



ファナックマグトロニクス 株式会社 FANUCMAGTRONICS Co., Ltd.



- ① 代表取締役社長 菅 実
- ② 信頼性の向上
それでお客は満足か
(お客様第一主義に徹する)
スローガン～新生マグトロニクス～
- ③ ・収益構造の強化
・高付加価値ビジネスへの転換
・業務効率化への革新
- ④ 3,000 百万円 ⑤ 90 百万円
- ⑥ 激変する厳しい経営環境下で増収増益を達成する強い集団に生まれ変わる。



フォレスト総合ケア株式会社 FOREST SOGO CARE Co., Ltd



- ① 代表取締役社長 荻野 尹 武
- ② 質の高いサービスを提供するとともにオリジナリティーを意識した展開
- ③ ・グループ各社の深掘り及び新規顧客開拓
・保険会社とのタイアップ(企画・管理・リフォームに重点)
・新規事業の立ち上げ(業務家電アウトレット事業)
- ④ 70 百万円 ⑤ 0.2 百万円
- ⑥ 感謝・感激・感動を従業員全員の共有とし、お客様に無形の利益を提供する。
常にサプライヤーを大切にし対応する。



株式会社 富士コスモサイエンス FUJI COSMO SCIENCE Co., Ltd.



- ① 代表取締役社長 佐藤 龍 治
- ② 自然と科学と夢の3つをつなぐ商品を開発し、サイエンスの楽しさを伝えよう。
- ③ ・サイエンスに親しめるオリジナル商品の開発
・宇宙食アイスクリームの輸入再開と販路回復
・見本市を活用した一般市場へのアピールと販売開拓
- ④ 170 百万円 ⑤ 13 百万円
- ⑥ デフレ経済の中でも「光り輝く独自性」を発揮していきましょう。



株式会社 ダイチュー テクノロジーズ Daichu Technologies Co., Ltd



- ① 代表取締役社長 真道 保 美
- ② ・CS(Customer Satisfaction)の向上
・ES(Employees Satisfaction)の向上
・EV(Enterprise Value)の向上
スローガン
Advance The Next (常に前進/常に前向き/常に改善)
- ③ ・受注の確保 ・製造原価の低減
・エンジニアリング部門の強化
- ④ 5,000 百万円 ⑤ 150 百万円
- ⑥ 的確に状況を捉え、QUICKLYに戦略を立て行動する。



株式会社 サテリット SATELLYT Co., Ltd.



- ① 代表取締役社長 鳶村 忠
- ② 薄板、微細加工のオンリーワン企業へ(世界一の試作工場になる)
- ③ ・超微少部品の受注と加工技術の研究開発
・中量試作品(2,000~5,000)の受注
・新分野へのアプローチ
- ④ 140 百万円 ⑤ 8 百万円
- ⑥ まだまだ厳しい状況が続いていますが、全社一丸となって目標達成します。

株式会社 ウィーゴ WE GO Co., Ltd.



- ① 代表取締役社長 松澤 悟
- ② 人の知恵を活かし柔軟に対応出来る企業体質
- ③ ・物づくりの現場から人材育成、新しい挑戦
・現地現場から実践実行の改善
・基本を忠実に実行する
- ④ 168 百万円
- ⑤ 5 百万円
- ⑥ 日々変化する市場の動きに微調整をし、挑戦する企業へ

- ① 代表取締役社長 山田 元昭
- ② 業界が熱望する操縦士を育成、提供することにより航空業界の発展に寄与する。
- ③ 優秀かつ誠実な訓練で、訓練生の信頼を得、卒業生の就職を支援することにより、評判を上げる。そのことが顧客確保の最大の近道であると社員意識を徹底させる。
- ・確かな技術と経験に合わせ、基本に忠実な運航で安全を確保なものとし、無事故記録を更新。
- ・老朽化した設備の修理および機材の更新を果たし、安全性と生産性向上に努める。
- ④ 150 百万円 ⑤ 10 百万円
- ⑥ 官、民を問わず、訓練生の安定確保に努めます。ドクターヘリ事業の拡大に合わせ、今年は特にヘリコプター操縦士養成に注力し、引き続き需要が見込まれる操縦訓練で、優秀な卒業生を送り出し、フライトセーフティとしてのブランド力向上を目標にします。



- ① 代表取締役社長 菅 実
- ② 全てにおいて「変革」を追求し、「新生トライターム」を確立すべく、全員で挑戦し続ける…
「新生へのトライ」
- ③ 絶対量の確保
顧客第一主義
経費削減
- ④ 1,200 百万円
- ⑤ 36 百万円
- ⑥ 顧客満足を第一に考え新生トライタームの確立に向け邁進致します。



- ① 代表取締役社長 眼目 毅
- ② 『常在創業、創意無限』
- ③ 業務請負体制の完全確立
・スタッフのキャリアアップ
・新市場の開拓
- ④ 150 百万円
- ⑤ 3 百万円
- ⑥ 「ものづくりサービス」の本質を追究し、「業」を創出する。
2013年までに自立する。(independence 2013)



- ① 代表取締役社長 熊谷 修
- ② 安定した経営基盤の確立を目指して、さらなる挑戦
- ③ 顧客から満足されるITサービスの向上
・技術力及びマネジメント力アップの人材育成強化
・コスト低減を意識した業務効率化の推進
- ④ 248 百万円
- ⑤ 14 百万円
- ⑥ リスクテイクする勇気がなければ本物のチャンスは来ない。



明日を担う 人材教育と育成

二〇一〇（平成22）年
分社グループ（全体）
新入社員入社数

男性	女性
31	8

この春入社した新入社員はグループ全体で左記の通り。新規新卒採用を行った会社はグループ内18社中4社にとどまりました。厳しい時勢が続く中、次世代の担い手として力強く伸びて行ってくれることを期待しています。



《分社グループ 株主総会》

- 5月28日（金） 13:30 ～
コートヤード・マリオット銀座東武ホテル
2階『桜A』
- 6月24日（木） 13:30 ～
・コートヤード・マリオット銀座東武ホテル
2階『芙蓉』
・社長会・吉生会開催

今年1月～2月にかけて公認会計士田島先生によるグループ内6社の内部監査が行われ、要改善点が指摘されました。要改善項目につきましては、既に前回の社長会で報告済みですが、監査を受けた会社のみならず、要改善項目が見受けられた会社は、改善に努めていただくようお願いいたします。



おしらせと
グループ
内部監査
お願い